

3. 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1ページにつき和文は5,775円(税込)、超過頁は1ページにつき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5ページ以内は31,500円(税込)、6ページ以上は1ページ毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権：当誌に掲載する著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷：30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

## 編 集 後 記

S 予備校主催の「全国国公立大医学部医学科説明会」の講師として、「医療（医師）と医学（研究者）の魅力」という基調講演をする機会を得た。将来医学部を目指す高校生とその父兄を対象として、医療・医学の魅力を話してほしいとの要望だった。泌尿器科医としての経験をもとに、最先端の臨床医学や医学研究を紹介し、これに携わるプロフェッショナルの魅力を伝えたつもりである。最後に「医師は、技術・知識もちろん必要だが、総合力で勝負する職業。神の手を自ら自慢する医師にまともな医師はいない。」と話したら大きな反響があった（私自身が先頃いろいろ話題を提供した京大病院の診療科長ということもあるのだろう）。

写真や図を多く使った発表をしたので、退屈せずに最後まで熱心に聞いていただいた。ただ、3～4名の男子高校生が体調不良で退場してしまうというハプニングが起きた。それほど過激なスライドでは無いと思って用意したのだが、すこし刺激が強すぎたのかもしれない。謝罪するとともに「これは皆さんがこれから乗り越えるべき壁のひとつと理解ください」と弁明させてもらった。医療の世界に長い間いると、知らず知らずのうちに一般人の感性からは離れてしまっていることを実感し反省させられた講演会だった。

(小川 修)

泌尿器科紀要 第54巻 第11号 2008年11月25日 印刷 2008年11月30日 発行  
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190  
<http://www.kiyou.jp/>

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入